

WEEKLY

週間メニュー

MENU



- 月 女性と仕事
- 火 生活とマネー
- 水 いま、はやりもの
- 木 **いきいき人生**
- 金 リフレッシュ

木曜日
THU

「会社で嫌なことがあったとき、家に帰ってフジイさんのキャラクターを見た泣いてしまいました」

最近、こんなファンレターが寄せられた。笑っているのか怒っているのかわからない、独特の表情を浮かべるキャラクター「ダニークン」と、その仲間たちの生みの親。インターネットや個展の活動により、ホームページ (<http://www.danykun.com/>) に登録するファンクラブ会員は百人に達した。

部品試作工場で働いていた平成八年、CAD(設計支援ソフト)が導入され、使用して図面を引く必要に迫られた。練習にCG(コンピュータグラフィックス)制

キャラクターデザイナー フジイ ミツグさん

本日の仕事人

ふじい・みつぐ 本名、藤井貢。10年に退社し、キャラクターの創作活動を続けながら、CGやHP作成の個人事業を展開。現在は個展や壁面制作、グッズ販売、講演活動などCGを使ったデザインを始める。翌年、

作ソフトで描いたゾウの絵が、その後の運命を変えることになる。絵など学んだことがないのに、予想以上にうまく描けたのだ。

「ひよっとして、才能あるんじゃないか」。すぐにデザイン会社などに片っ端から電話をかける

「不安はあったけど、これで生きていこうと決めた」。最初に目をつけたのは、完成前のマンション広告に使う予想図。当時はほとんどが絵だったが、CGが取って代わると確信した。しかし、時代

を先取りし過ぎたのか、営業しても、まともな話を聞いてもらえなかったという。

思い切って自宅にソフト、パソコン合わせて約百万円の機材を導入。働きながら、毎晩午前三、四時までCGを描く生活が始まった。そして、平成十年に約十五年間勤めた工場を辞めた。

運命変えた 描く喜び



CDや楽器を販売する大型店の壁に壁画を描くフジイミツグさん
—京都市中京区のJEUZIA三条本店

しかし一年ほど前から、個性的なキャラクターが少しずつ人の目に留まり始めた。現在は雑誌やテレビ、大手企業の携帯電話サイトなどで、創造したキャラクターたちが生き生きと活躍している。

CGだけでなく、筆で描くことも多くなったが、「絵の勉強をしたことがないのがよかったのでは。誰のまねもせず、思うままに描きたい」と持ち味を強調する。

支援者らからの「有名になるまで応援するよ」という温かい言葉が何よりうれしいという。三十六歳のときに志したキャラクターデザイナーの道は、まだ始まったばかりだ。

(書橋寛次)

この仕事、
こんな苦勞

